

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち														
環 境 保 全 項 目			さわやかな空気と静けさを確保する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
1-1	31	移動図書館車の運行	地球資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行 (丸子・武石地域、年間約159日運行)	貸出冊数 21,000 冊	◎	4月～9月 ・移動図書館車の運行 (丸子・武石地域 75 日運行) ・貸出冊数 10,633 冊	貸出冊数22,973冊	貸出冊数21,006冊	貸出冊数20,964冊	貸出冊数 21,000冊	○	4月～9月 ・移動図書館車の運行 (丸子・武石地域 75 日運行) ・貸出冊数 10,633 冊 10月～3月 ・移動図書館車の運行 (丸子・武石地域 72日運行) ・貸出冊数 10,331 冊 年間貸出冊数: 20,964 冊 リクエストに応じ、次年度に1ポイント巡回場所を増やしていく。	移動図書館車の指標となる貸出冊数の見直し又は貸出促進の方法を検討する。		丸子金子図書館

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち														
環 境 保 全 項 目			きれいな水と安全な土壌を確保する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
1-2	11	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置4基	△	上半期に補助申請なし。	設置基数2基	設置基数0基	設置基数2基	合併処理浄化槽設置整備事業での設置4基	○	下半期に入って2件の補助申請があった。 設置人槽: 5人槽 × 2件 補助金額: 352,000円 × 2件 = 704,000円 地域公共水域の水質維持向上に効果があった。	・設置は個人の資金事情によるため、計画どおりに促進することは難しいが、次年度以降も引き続き促進を図っていく。		丸子市民生活課
1-2	26	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 200戸 ・水洗化率 85. 4%	◎	新規接続戸数112戸 (4/1～9/30)	・下水道の早期接続の戸別訪問 21年度－0戸 ・郵送による普及促進活動 21年度－62戸	・下水道の早期接続の戸別訪問 22年度－73戸 ・郵送による普及促進活動 22年度－95戸	3月末現在接続確認申請者数 419戸	・新規接続戸数 200戸 ・水洗化率 85. 4%	◎	3月末現在接続確認申請者数282戸・このほかに県営住宅137戸計419戸があった。			丸子上下水道課
1-2	27	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 夜間最低流量の調査10箇所 地区別漏水量の確認 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台へ上げる	○	漏水調査の委託は現在準備中。 調査に使用する超音波流量計は発注済。 漏水修理は随時行っているが、大きい箇所が数箇所修理できたので、有収率は上がりそうである。	有収率74.00	有収率66.57	有収率66.91	本年度有収率 70%台へ上げる	○	漏水調査は、予定とおり終了した。 漏水箇所の修理は随時行ったが、有収率が思ったほど上がらなかった。 次年度は、ブロック別に漏水調査を行い地域を絞り込み効果を上げていきたい。			丸子上下水道課
1-2	40	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と環境保全を確保	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○処理場の整備 ①菅平浄化センター改築更新 ②農集処理場の維持管理	○処理場の整備 ①菅平浄化センター調整槽設備、沈砂池設備更新工事	◎	菅平浄化センターH23工事について、沈砂池棟及び調整槽設備更新工事は、国への交付申請を行い交付決定を受けている。今後日本へ下水道事業団と協定を結ぶ予定。				○処理場の整備 ①菅平浄化センター沈砂池設備、調整槽設備更新工事	○	予定していた設備更新工事の、機器類の工場製作が完成した。一部の製作については、H24年度に繰越した。			真田上下水道課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち														
環 境 保 全 項 目			きれいな水と安全な土壌を確保する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
1-2	46	排水設備の普及促進	水質の保全	下水道の早期接続	未接続者全戸へ電話での早期接続案内の実施 パンフレットの送付	未接続への電話度に集計	○	1回目のパンフレットの送付が できなかった	平成21年度水洗化率 86.2%	平成22年度水洗化率 86.6%	平成23年度水洗化率 86.9%	未接続の理由聞き取りアンケート・集計	△	アンケートの集計が生かせなかった。	未接続世帯の高齢化が進んでいる。子どもを交え将来設計等まで踏み込んだ相談に乗れれば。		武石上下水道課
1-2	47	有収率の向上	安定安全な水の供給	漏水調査、管の破裂等修繕の迅速な対応	中央第1・第4配水池系地区全戸の音調調査		◎	現在漏水調査受託業者が武石・真田を1事業として調査中	獅子ヶ城簡易水道漏水発見 2件10t/h	中央第3配水池系で10件20t/h	中央第1・第3配水池系で6件3.3t/h	安定安全な水の供給	○	調査結果に基づき修理の迅速な対応ができた。	引き続き調査が必要である。		武石上下水道課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち														
環 境 保 全 項 目			水辺環境を守り・親しむ														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
2-2	23	① 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	① 農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。	① 実績数値による。	◎	・1自治会と調整中 事業量 L=40m 内容 丸太柵水路工	実施0	実施0	実施1	① 実績数値による。	◎	・鵜ノ脇用水 事業量 L=40m 事業内容 巨石積水路工	・引続き環境に配慮した工法を推進します。		丸子産業観光課
2-2	36	天然素材利用農道・水路整備	日本の原風景を楽しめるまち	農道、農業用水路において、環境に配慮した天然素材を利用する工法を推進します。	天然素材を利用した農道・水路を整備する。	農道・水路整備における天然素材を利用を5箇所以上採用する。	◎	災害復旧において間伐材などを利用し、天然素材の活用を行っている。	日影地区 m	L=21 災害復旧等 一式	大日向地区 L=7 m、災害復旧N=4箇所	農道・水路整備における天然素材利用を5箇所以上採用する	◎	頭首工の改修工事において、フトン籠、自然石での捨て石工を採用し、環境に配慮した。	更なる箇所、工法の向上を図る必要がある		真田産業観光課
2-2	44	① 多自然型水路整備	1 自然の保全・活用	① 農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を一箇所整備する。	① 多自然型水路を一箇所整備する。		現在要望のない為事業予定なし	なし	なし	なし	多自然型水路を一か所整備する。		現在、要望ない為、事業予定なし			武石産業観光課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち														
環 境 保 全 項 目			農環境を守り・親しむ														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
2-3	37	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成23年度 12ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 22年度末 142.9ha →23年度目標 12ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。	農用地流動化促進奨励金対象面積の推移 11.7ha	農用地流動化促進奨励金対象面積の推移 142.9ha	農用地流動化促進奨励金対象面積の推移 30.1ha	農用地流動化促進奨励金対象面積 22年度末 142.9ha →23年度目標 12ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。 昨年度急増の要因となったダボス牧場分を除いた実績16件、9haと比較すると16件、21.1haの増となった。			真田産業観光課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち														
環 境 保 全 項 目			循環型社会の形成に努める														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-1	8	丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月23日(水)	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度90%以上	◎	8月17日 第1回実行委員会開催 8月25日 役員会開催 9月7日 総務部会開催 9月21日 第2回実行委員会開催 10月6日 役員会開催	来場者数624人 満足度92%	来場者数570人 満足度96%	来場者数550人 満足度97%	来場者予定数600人 アンケートによる来場者満足度90%以上	○	8月17日 第1回実行委員会開催 8月25日 役員会開催 9月7日 総務部会開催 9月21日 第2回実行委員会開催 10月6日 役員会開催 11月2日 全体会開催 11月22日 前日準備 11月23日 消費生活展開催 12月21日 反省会 2月8日 会計監査	来場者数は減少したが、満足度は年々向上している。 実行委員、来場者共に高齢化が進む中、イベントPR方法等について検討していきたい。		丸子市民生活課
3-1	15	ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 50件	◎	補助金交付件数 25件(目標の50%)	補助金交付件数68件	補助金交付件数47件	補助金交付件数57件	補助金交付件数50件	◎	年度末 57件(目標の114%)			丸子市民生活課
3-1	16	資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	△	補助金交付申請なし	補助件数1件	補助件数0件	補助件数1件	補助金交付件数1件	◎	補助金交付件数 1件			丸子市民生活課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち														
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-2	3	公共工事コスト縮減調査	地域資源を活かし、環境に配慮した公共工事を実現します	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、公共工事コスト縮減調査を実施するとともに、その結果を周知し、更なるコスト縮減を呼びかけます。	平成22年度分公共工事コスト縮減調査の実施	公共工事コスト縮減 3.50%	△	・人事異動により引継ぎが正確になされておらず、これから公共工事実施担当課へ22年度の成果を照会する。	公共工事コスト縮減 3.27.%			公共工事コスト縮減 3.27.%	△	・平成22年度より、公共工事において環境に配慮した再生材等を使用することは、設計段階から義務化されており普通のこととなったため、測定が不可能となった。	義務化されているため、本項目を削除する。		丸子地域振興課
3-2	4	グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を88%以上とする	○	・平成23年度上半期グリーン購入の推進状況(4月～9月のグリーン購入率:62.87%) グリーン購入調査による※小中学校及び保育園等が本年度から調査対象から外れたため、グリーン購入率が低下している。	グリーン購入率84.95%	グリーン購入率87.96%	年間グリーン購入率:64.27%	88%以上	△	・平成23年度のグリーン購入の推進状況(年間グリーン購入率:64.27%) グリーン購入調査による※小中学校及び保育園等が本年度から調査対象から外れたため、グリーン購入率が低下している。	小中学校及び保育園等が本年度から調査対象から外れたため、グリーン購入率が低下している。従って次年度以降の適切な目標数値の設定が課題である。		丸子地域振興課
3-2	5	消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の1.2%減(363,052kwh)	◎	・エレベータ休日停止(H22より継続) ・不使用電源のスイッチ等を就業時切るように掲示板にて告知(4月・6月) ・ピークカットチャレンジに併せて平日夜間(21時～7時)エレベータ停止を実施 ・H23上半期電気使用料149,630kwh (H22前期比 22,987kwh減、13.3%減)	319,136kwh	363,052kwh	337,330kwh	前年度実績の1.2%減(363,052kwh)	◎	・エレベータ休日停止(H22より継続) ・不使用電源のスイッチ等を就業時切るように掲示板にて告知(10月・1月) ・平日夜間エレベータ停止を継続実施 ・H23下半期電気使用料 187,700kwh H23年度電気使用料 337,330kwh (H22後期比 2,735kwh減、1.4%減) (H22全期比 25,722kwh減、7.1%減)			丸子地域振興課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち														
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
3-2	6	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連27施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減(27,018／kg)	○	・H23上半期 14,760kg ・年度当初関連施設の可燃ごみの削減について、ゴミの分別を徹底(リサイクル雑古紙等で排出して可燃ごみを削減)を通知	34,910kg(上半期:17,160kg)	28,440kg(上半期:14,560kg)	29,310kg(上半期:14,760kg)	前年度実績の0.5%減(27,018／kg)	△	・H23下半期 14,550kg ・年度当初関連施設の可燃ごみの削減について、ゴミの分別を徹底(リサイクル雑古紙等で排出して可燃ごみを削減)を通知 (H22年度比 870kg増、3.1%増)	・可燃ごみが増加した原因を調査し、対応策を考える。		丸子地域振興課
3-2	7	集中管理者のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	一昨年度実績の±0.0% ガソリン使用量3,150ℓ、軽油5,150ℓ	○	・平成23年度上半期車両燃料使用量削減状況 (4月～9月の対前年比) ガソリン9.2%増、軽油35.7%減 車両燃料調査による	ガソリン3,142ℓ 軽油5,158ℓ	ガソリン4,200ℓ 軽油5,391ℓ	ガソリン4,248ℓ 軽油4,750ℓ	一昨年度実績の±0.0% ガソリン使用量3,150ℓ、軽油5,150ℓ	△	・平成23年度車両燃料使用量削減状況 (一昨年4月～3月の対前年比) ガソリン34.5%増、軽油7.98%減 車両燃料調査による	車両燃料使用量目標策定にあたっては、震災応援等特殊要因の状況を鑑み、目標値を途中で変更する必要があるかどうかを見極める必要がある。		丸子地域振興課
3-2	10	防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換(460基/2,275基)	◎	本年度配分:22自治会460基 交付決定数:20自治会430基 完了報告数:11自治会158基	H23年度からの事業	H23年度からの事業	交換基数460件	防犯灯のLED照明への交換(460基/2,275基)	◎	本年度配分:22自治会460基 交付決定数:22自治会460基 総事業費:9,698,850円 補助金額:9,198,500円 地球温暖化防止及び自治会電気料削減に効果があった。 市民生活課管理防犯灯1基のLED化を行った。	補助金交付申請書(1基:1件)を途中から変更があり、また添付書類(写真)についての苦情があったため、生活環境課と協議して改善する必要がある。		丸子市民生活課
3-2	17	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数 85件	◎	補助金交付件数 52件(目標の61.2%)	補助金交付件数42件	補助金交付件数77件	補助金交付件数112件	補助金交付件数85件	◎	年度末 112件(目標の131.8%)			丸子市民生活課
3-2	19	市民生活課所有車の燃料使用の抑制	市民生活課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民生活課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減 (昨年度、住宅部門単独で設定した事業を、今年度から課全体に拡大)	・ガソリン(10台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期1,411ℓ 年度末2,931ℓ ・軽油車(2台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期1,248ℓ 年度末2,186ℓ	◎	ガソリン使用量 1,418.17ℓ(目標の100.5%) 軽油使用量 989.26ℓ(目標の79.3%)	ガソリン使用量2,961ℓ 軽油使用量2,208ℓ	ガソリン使用量2,726.46ℓ 軽油使用量2,052.83ℓ	・ガソリン(10台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期1,411ℓ 年度末2,931ℓ ・軽油車(2台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期1,248ℓ 年度末2,186ℓ	○	年度末 ガソリン使用量 2,726.46ℓ(目標の93.0%) 軽油使用量 2,052.83ℓ(目標の93.9%)			丸子市民生活課	
3-2	22	環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	工業3団体へ説明会の開催 団体会員への「工振ニュース」で取得支援の情報を年2回提供する。	参加者1回で30社40人	◎	6月の役員会及び企業懇談会において、情報提供・取得説明を行った。2回で32社45名 7つきに団体会員へ「工振ニュース」で取得支援の情報を提供した。	参加企業50社 参加者90人 取得企業0社	参加企業35社 参加者50人 取得企業0社	参加企業32社 参加者45人 取得企業1社	参加者1回で30社40人	○	丸子工業振興会・上田市商工会工業部会について説明会の開催は、予定どおり出来たが経済状態がまだ完全に回復しないため、安くない取得費用がネックとなりここ2年間取得する企業はなかったが1件の取得があった。。	世界的な景気の回復と円高の解消が考えられる中、エコアクション21などの情報提供も検討する。		丸子産業観光課
3-2	28	給食の調理及び配達	廃棄物排出量の抑制	環境にやさしい給食づくりと配送業務(食品残渣の減少とBDF利用の配送車の運行)	①安全で安心なおいしい給食づくり ②配送車にBDFを利用(夏場) ③地元農産物の使用 ④食品残渣の量削減	①指導委員会における意見集約 ②BDFの利用量 ③地元農産物の使用量 ④食品残渣の調査、減量指導、畜産飼育への活用	◎	食品残渣 4月225kg 5月270kg 6月263kg 7月240kg 8月76kg 9月260kg BDFについて: BDFを活用した際に配送車の故障により今年度は活用を見合わせした。	②BDF198リットル ④食品残渣2177kg ⑤家畜飼料2177kg	②BDF252リットル ③地元産使用40,800kg ④食品残渣3,835kg ⑤家畜飼料3,835kg	①指導委員会における意見集約 ②BDFの利用量 ③地元農産物の使用量 ④食品残渣の調査、減量指導、畜産飼育への活用	○	食品残渣 4月225kg 5月270kg 6月263kg 7月240kg 8月76kg 9月260kg 10月284kg 11月210kg 12月273kg 1月109kg 2月210kg 3月108kg BDFについて: BDFを活用した際に配送車の故障により今年度は活用を見合わせした。			丸子学校給食センター	

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち														
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-2	29	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。＜事業周知時における呼びかけ＞	・住民環境啓発		◎	※丸子文化会館セレスホールや小ホールで行った自主事業、社会教育事業の際に ①開催通知に乗り合わせの呼びかけを記載した。 ②館内に啓発文書を掲示し周知した。 ③開催時、口頭で周知した。	利用者数95,999人	利用者数88,088人	利用者数80,874人		◎	※丸子文化会館セレスホールや小ホールで行った自主事業、社会教育事業の際に ①開催通知に乗り合わせの呼びかけを記載した。 ②館内に啓発文書を掲示し周知した。 ③開催時、口頭で周知した。	・啓発対象者が異なるため、継続して実施する必要がある。		丸子地域教育事務所(文化会館)
3-2	32	消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます	庁舎の電力消費量削減	平成19年度比4.8減(年1.2%×4年)目標値434,615kwh	◎	・7/7非常警報電灯LED化3灯 ・7/11誘導灯1灯LED化 ・6/22.7/7.7/26ピークカットチャレンジ実施12:00～13:00→13:00～14:00 ・野外照明を消灯 ・7月中は空調設備故障 冷房の温度設定を管理し運転時間の短縮に努めた。 23年度上半期 137,579kwh 22年度上半期 195,202kwh 前年度比29.5%減	403,327KWh	452,118KWh	378,250kwh	平成19年度比4.8減(年1.2%×4年)目標値434,615kwh	◎	・暖房の温度設定を管理し、運転時間の短縮に努めた。 ・最大電力量を抑えるため、電力の掛かるチラーの調整をおこなった。 ・深夜電力での稼働に努めた。 ・同程度の照度を保ちつつワット数を下げ節電に努めた。40W→30Wに、50本かえた。 23年度 378,250kwh 19年度比17.1%減	電力量を抑えるため暖房・冷房の調節をはかった。引き続き照明については、おこなっていききたい。	天気の良い日はブラインドをあけて照明をおとしましょう。暖房も設定を下げてもいいのでは。	真田地域振興課
3-2	33	共有管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	共有管理車10台のガソリン及び軽油の使用量の削減	平成19年度比4.8減(年1.2%×4年)目標値ガソリン2,382L以下・軽油4,410L以下	◎	長距離時のハイブリット車使用を優先し、エコドライブの呼びかけに努めた。 22年度上半期使用量 ガソリン1,315.21ℓ 軽油2,547.62ℓ 23年度上半期使用量 ガソリン1,156.52ℓ 軽油2,383.15ℓ 前年度上半期比 ガソリン12.0%減、 軽油6.5%減	ガソリン 2276.18 軽油 4507.32	ガソリン 2433.77 軽油 4412.29	ガソリン 2688.88 軽油 4213.65	平成19年度比4.8減(年1.2%×4年)目標値ガソリン2,382L以下・軽油4,410L以下	◎	長距離時のハイブリット車使用を優先し、エコドライブの呼びかけに努めた。ガソリンについては、公用車1台増により、使用量増となった。 23年度使用量 ガソリン2,688.88ℓ 軽油4,213.65ℓ 19年度比 ガソリン33.4%増 軽油17.7%減			真田地域振興課
3-2	43	消費電力の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の1.2%減	◎	原発事故、中電浜岡原発稼働停止を受けて、ピークカットチャレンジ、エアコンの使用の抑制等、電力消費の一層の削減に努めた	91,462kwh	87,585kwh	79,561kwh	前年度実績の1.2%減	◎	原発事故、中電浜岡原発稼働停止を受けて、ピークカットチャレンジ、エアコンの使用の抑制、電力消費の一層の削減ができた。			武石地域振興課
3-2	44	エコオフィスうえた	コピー用紙使用の削減等による環境配慮	「エコオフィスうえた」に基づき、コピー用紙使用の削減を図る		H23年度コピー枚数 25650枚(H22年度比5%削減目標)	◎		エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	○				武石市民生活課
3-2		エコオフィスうえた	可燃ごみの抑制による環境への配慮	「エコオフィスうえた」に基づき、資源化率の向上を図る。		平成23年度：95%(平成23年度目標数値)	◎		エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	○				武石市民生活課
3-2		エコオフィスうえた	申告システムの更新による環境への配慮	「エコオフィスうえた」に基づき、エラー表示用紙の削減、電気使用量の削減を図る。		平成23年度：95%(平成23年度目標数値)	◎	用紙・電気使用量とも90～95%の削減が図られた。	エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	エコオフィスの推進	○	用紙・電気使用量とも90～95%の削減が図られた。			武石市民生活課
3-2	45		ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減等による環境配慮	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減		23年度 コピー枚数 23600枚 電気使用量 31200kwh 水道使用量 500㎡ 灯油使用量 2500ℓ	◎	コピー枚数 11590枚 電気使用量 12233.2Kwh 水道使用量 238.7㎡ 灯油使用量 0ℓ		コピー枚数 24872枚 電気使用量 32849Kwh 水道使用量 531㎡ 灯油使用量 2702ℓ	コピー枚数 23269枚 電気使用量 29329.8Kwh 水道使用量 517.4㎡ 灯油使用量 2213.0ℓ	コピー枚数 23600枚 電気使用量 31200Kwh 水道使用量 500㎡ 灯油使用量 2500ℓ	○				武石健康福祉課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち														
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-2	49		ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減等による環境配慮	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減		23年度 コピー枚数 10350枚 電気使用量 29700kwh 水道使用量 495㎡ 灯油使用量 3260ℓ	◎	コピー枚数 3994枚 電気使用量 10534Kwh 水道使用量 238㎡ 灯油使用量 350ℓ		コピー枚数 10462枚 電気使用量 34849Kwh 水道使用量 509㎡ 灯油使用量 3805ℓ	コピー枚数 8353枚 電気使用量 29330Kwh 水道使用量 473㎡ 灯油使用量 3677ℓ	コピー枚数 10350枚 電気使用量 29700kwh 水道使用量 495㎡ 灯油使用量 3260ℓ	○				武石診療所
3-2	50		省エネに努めるエコ対策	就労センター職員及び通所者の環境に対する意識を高める。	施設内の環境整備に努め、節電・節水・燃料の削減に努める。	ガソリン・軽油月平均350ℓ 灯油月平均237ℓ 電気月平均150kw	◎	ガソリン、軽油については、予定より減である。灯油についても夏の間はエアコンを使用しなかった灯油はこれから冬にかけて使用電気については数字を間違えて計画を立ててしまった				月平均の電気使用量は節電に努め月平均2193キロ 軽油は月平均202ℓ ガソリンは企業の開拓により月平均299ℓ	○	月平均の電気使用量は節電に努め月平均2193キロとやはり寒いのが影響して電気量の増。軽油は月平均202ℓと上半期より抑えた。ガソリンについては企業の開拓により納品回数が多くなり使用量が多くなった。灯油使用量についても厳しい寒さの影響を受け灯油使用量が多くなった。			社会就労センター武石事業所

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち														
環 境 保 全 項 目			地域資源を有効利用する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-3	18	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 12件	◎	補助金交付件数 8件(目標の66.7%)	補助金交付件数 2件	補助金交付件数 9件	補助金交付件数 4件	補助金交付件数 12件	◎	年度末 12件(目標の100.0%)			丸子市民生活課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にするまち														
環 境 保 全 項 目			緑あふれるまちをつくる														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の 状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき 課 題	市民等からの 意 見	担当課
									H21	H22	H23						
4-2	24	花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1住民参加のための施策検討 2住民参加による緑化 3住民環境啓発	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ⑥コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑧講習会への参加	◎	4月 参加団体へ配布する花苗の調整 丸子地域花いっぱい運動参加団体 79団体 会員数 3, 929名 4月15日 花作り事業 農協営農センターにて花苗のポット植替え作業実施 6月1・2・3日 参加団体への花苗の配布 花苗種類12(色別等種類 26) 7月 (1)参加団体から花と緑のまちづくりデザイン事業実績報告書の提出 (2)「上田市花と緑のまちづくりコンクール」の参加呼びかけ 丸子地域花いっぱい運動団体からの応募あり 団体部門(50㎡未満)7団体、団体部門(50㎡以上)7団体 学校部門 3校 合計17 22年度実績(14)	②新規団体1 ③ 参加人員3,460人 ⑥応募団体19 (うち個人2) ⑦参加団体17 ⑧受講者数25	②新規団体1 ③ 参加人員2,838人 ⑥応募団体14 ⑦参加団体14 ⑧受講者数31	②新規団体0 ③ 参加人員3,414人 ⑥応募団体17 ⑦参加団体17 ⑧受講者数24	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ⑥コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑧講習会への参加	◎	11月 2日 丸子地域花作り懇談会(参加者15名) 11月 5日 第54回全日本花いっぱい藤沢大会で「露草橋通り花壇」功労賞受賞 11月 9日～10日 秋植え用球根配布(チューリップ6310球) 11月18日 上田花と緑のまちづくりコンクール表彰式 団体(50㎡未満)の部 優秀賞 荻窪ビーンズの会 団体(50㎡以上)の部 奨励賞 藤原田花と緑の会 学校の部 最優秀賞 塩川小学校 11月24日 堆肥作り 丸子公園の落ち葉で堆肥作り(丸子修学館高校にて) 1月 1日 「花だより2012」配布(丸子地域8000戸) 2月25日 花づくり講習会 参加者24名			丸子建設課
4-2	25	住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 210人	◎	4月 丸子ベルパーク花壇への花植え(6月実施)の配置と本数 4区画の花苗配置作成 5月25日 「まるこ花と緑の会」視察研修 山梨県北杜市:ミヨシペレニアルガーデン、フラワーセンターハイジの村他 (参加者20名) 6月18日 丸子ベルパーク花壇への花苗植栽(参加者 19名) サルビア 赤(370本)、百日草 赤(100本) 黄(70本)、ジニアリネアリス 白(180本)、マリーゴールド 橙(70本) 黄(100本)、ペゴニア 白(170本)、日々草 白(100本) 赤(70本)、コキア(150本) 合計 1, 380本 6月～9月 平成23年度 丸子ベルパーク花壇管理 6月…3回 7月…9回 8月…9回 9月…8回 合計 29回	参加人員236人	参加人員200人	参加人員195人	ボランティア参加者 210人	◎	4月 丸子ベルパーク花壇への花植え(6月実施)の配置と本数 4区画の花苗配置作成 5月25日 「まるこ花と緑の会」視察研修 山梨県北杜市:ミヨシペレニアルガーデン、フラワーセンターハイジの村他 (参加者 20名) 6月18日 丸子ベルパーク花壇への花苗植栽(参加者 19名) サルビア 赤(370本)、百日草 赤(100本) 黄(70本) ジニアリネアリス 白(180本)、マリーゴールド 橙(70本) 黄(100本) ペゴニア 白(170本)、日々草 白(100本) 赤(70本)、コキア(150本) 合計 1, 380本 6月～9月 平成23年度 丸子ベルパーク花壇管理 6月…3回 7月…9回 8月…9回 9月…8回 合計 29回 11月17日 丸子ベルパーク花壇等 秋植え替え作業 参加者17名 ビオラ 1390ポット チューリップ球根 450球			丸子建設課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にすまち														
環 境 保 全 項 目			調和のとれた美しい景観を保つ														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
4-3	9	犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 10件以下	○	苦情件数 6件(看板設置を依頼)	苦情件数7件	苦情件数5件	苦情件数10件	苦情件数 10件以下	◎	犬猫の正しい飼育方法について4月、9月及び「動物の正しい飼い方普及月間」に合わせ6月に隣組回覧を自治会長に依頼した。 また、苦情対応の際に犬猫の飼育者に回覧文書を渡して指導した。 上半期苦情件数 6件(看板設置を依頼) 下半期苦情件数 4件 上半期よりは減少した。	前年度比倍増となった。 啓発チラシの回覧や立て看板の設置を進めていきたい。		丸子市民生活課
4-3	12	上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 8,740kg (H22の5%削減)	△	パトロール回数 4班 月3回 延べ72回 不法投棄のごみの量 8,340kg (目標の95.4%)	延べ136回 不法投棄のごみ量 5,950kg	延べ136回 不法投棄のごみ量 9,200kg	延べ144回 不法投棄のごみ量 11,370kg	不法投棄ごみの量 8,740kg (H22の5%削減)	△	パトロール回数 4班 月3回 延べ72回 不法投棄のごみの量 3,030kg 年度末 11,370kg (目標の -23.1%)			丸子市民生活課
4-3	13	ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) 5/29(日) 丸子地域は自治会ごとに実施 ポイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 4,700人	○	参加人数 4,363人(達成率92.8%)	参加人数4,662人	参加人数4,502人	参加人数5,073人	参加人数4,700人	◎	参加人数 710人 年度末 5,073人(達成率112.6%)			丸子市民生活課
4-3	14	河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・塩川沢・矢ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施(春・秋の年2回、参加6団体)	◎	5月19日 実施 参加 6団体	参加団体 春6秋6	参加団体 春6秋5	参加団体 春6秋5	河川パトロール・清掃実施(春・秋の年2回、参加6団体)	○	5月19日 実施 参加 6団体 10月25日 実施 参加 5団体			丸子市民生活課
4-3	34	アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保全・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	◎					地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	○	平成23年度の駆除面積は96万平米である。	自治会等への駆除の継続的な呼びかけ。河川・道路等公共部分駆除のための委託料の当初予算での継続的確保。駆除委託業務の発芽前の早期契約。		真田市民生活課
4-3	39	道路建設工事(歩道設置)	人にやさしいまちづくり	歩道設置を推進します	・歩道新設 L=370m (今年度の事業であるが菅平での施工となる為、歩道完成は来年度となる。)	・工事の完了実績による。 (今年度については、工事発注であり歩道完成は来年度となる為、数値での評価が出来ない)	◎	9月末に計画とおり発注、詳細設計において歩道新設 L=306mを発注。 繰越事業 1路線完了 L=180m				・工事の完了実績による。 (今年度については、工事発注であり歩道完成は来年度となる為、数値での評価が出来ない)	○	計画欄及び上半期の状況のとおりに今年度は、工事発注まで完了しているが、実際の歩道完成は来年度となる。24年度に達成予定。	菅平での事業の為、夏及び冬季間に工事が出来なく繰越となり年度末での評価が難しい。		真田建設課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち														
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい人を育む														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
5-1	21	隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ	住民の環境に対する意識の啓発を図る。	①隣保館事業参加者に対する環境啓発 ②「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えの実施 ③エコ料理教室の開催…省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。	①隣保館事業の開催数 90 回 ②参加者数 20人 ③教室参加者数 10人	◎	①隣保館事業開催時に意識啓発を図る。 ・パソコン講座ほか全47回開催(目標の52.2%) ・解放センターだより「彩り」に《チャレンジ'25》のロゴ掲載(6回発行) ②6/1(水)実施 参加者26人。 ③8/22(月)実施 参加者13人。 ・エコ料理教室は、1.おいしいこと 2.見た目もおいしそうなこと。3.その上にエコをプラスする。4.ガスや電気のエネルギーを大切に使う。5.ゴミをできるだけ少なく。6.水をむだなく使う。を学び実施できた。	①開催数107回 ②参加者数22人 ③11人	①開催数93回 ②参加者数19人 ③10人	①開催数99回 ②参加者数26人 ③13人	①隣保館事業の開催数 90 回 ②参加者数 20人 ③教室参加者数 10人	◎	①隣保館事業開催時に意識啓発を図る。 ・パソコン講座ほか全99回開催(目標の110%) ・解放センターだより「彩り」に《チャレンジ'25》のロゴ掲載(9回発行) ②6/1(水)実施 参加者26人。 ③8/22(月)実施 参加者13人。 ・エコ料理教室は、1.おいしいこと 2.見た目もおいしそうなこと。3.その上にエコをプラスする。4.ガスや電気のエネルギーを大切に使う。5.ゴミをできるだけ少なく。6.水をむだなく使う。を学び実施できた。			丸子市民生活課
5-1	30	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間にあわせ展示コーナーに環境関係の本を展示して市民に啓発する。 ・10月に本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。	・リサイクル本のリサイクル率	◎	・6月の環境月間にあわせ展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発した。 ・原発関係の本はおすすめ本として継続した。 ・リサイクル市のために、6月の曝書期間から除籍となる本の選書作業を始めた。			リサイクル率 44.90%	・リサイクル本のリサイクル率	◎	・6月の環境月間にあわせ展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発した。 ・原発関係の本はおすすめ本として継続した。 ・リサイクル市のために、6月の曝書期間から除籍となる本の選書作業を始めた。 ・リサイクル市の開催 10月29日(土)13時から16時まで実施 10月30日(日)10時から15時まで実施 展示総冊数6,885冊／持ち帰り総冊数3,092冊 リサイクル率 44.90%	リサイクル本の中身、質などによるものであるため、リサイクル率の高さだけでは評価できない。		丸子金子図書館
5-1	38	ごみ減量化事業	イベント開催時及び公園等利用時に発生するごみの減量	イベント参加者等と協力してごみの減量を図り、また公園等利用者への環境啓発活動を行います。	イベント時及び公園等へ環境啓発看板等の設置	イベント終了時のごみの残量	◎	イベントの主催者へごみ減量、持ち帰りの依頼を行った。イベント開催時に環境啓発活動(ごみの減量と持ち帰り啓発)を行った。				イベント終了時のごみの残量	○	イベント主催者へのごみ減量、持ち帰りの依頼を行うとともに、イベント開催時に合わせ環境啓発を行った。中止されたイベントもあり、啓発活動は縮小。	ゴミ排出時の計量を行う。		真田産業観光課
5-1	41	各種講座	地域における環境保全活動の推進	地域住民の環境に関する意識の啓発を図る	・ふるさととの自然に親しみ、自然の豊かさや大切さを学ぶ教室	教室を実施することで、住民の環境に対する意識の高揚、また、子育ての親同士が子どもと、物の大切さを学ぶ。	◎	1 ふるさと再発見ウォークラリー ・実施日:4月23日(土) 参加者85人 2 わんぱく森林塾 参加者34人 ・実施日:5月21日/6月4日/7月2日/9月3日 3 かるがも学級 ・実施日:5月20日/6月16日/7月1日/7月15日 9月15日	わんぱく森林塾 7人 かるがも学級 12人	わんぱく森林塾 7人 かるがも学級 12人	わんぱく森林塾 4人 かるがも学級 5人	1参加者 185人(22年度実績) 2教室参加者 3学級参加者	○	1 わんぱく森林塾 参加者34人 ・実施日:10月15日/11月12日 2 かるがも学級 ・実施日:10月7日/11月11日/12月9日/1月20日 2月17日/3月9日			真田地域教育事務所

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち														
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい地域を育む														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
5-2	2	わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 9団体	◎	・平成23年度 9団体実施中。・本年から狐塚自治会において、ほたるの里遊歩道整備が行われており、雑木処理などの環境保全活動が新たに実施された。	23団体実施	12団体実施	9団体	9団体	◎	・応募者増加に向けて、公募の呼びかけ回数を増やした。 ・9団体の事業が予定どおり完了 ・次年度に向け、新たに2団体の申請があり、事業採択が決定した。	・特になし ・環境保全等への参加団体増加へ向けて、新規応募団体に関する相談回数を増やす。		丸子地域振興課
5-2	42	武石地域全域公園化構想の実践と実現に向けた取り組みの実施	環境の保全	自然環境と一体となった地域性豊かな環境整備	①公園化構想実践事業とわがまち魅力アップ応援事業を活用した地域環境整備の推進	①公園化構想実践事業の進捗 ②わがまち魅力アップ応援事業の進捗	◎	地域協議会と自治会の代表による構想具体化を図る				①公園化構想実践事業の進奨 ②わがまち魅力アップ応援事業の進奨	◎	①地域協議会と自治会の代表による構想具体化する。			武石地域振興課
5-2	48	自然観察に関する事業	自然観察を実施し環境保護の感性を育む	自然に親しむ事業を実施する。	美ヶ原高原の散策・巢栗溪谷及びその周辺での観察。	植物の名前・外来種による環境の変化を知る。	△	7月3日 20名 9月の事業は参加者が少なく未実施				植物の名前・外来種による環境の変化を知る。	△	美ヶ原高原の散策、巢栗溪谷の散策は行うことが出来たが、環境の変化について学ぶ機会が提供できなかった。	誰もが参加しやすく、興味を持てる事業にする。見慣れている環境であるが、改めて、自然の美しさ、環境の変化について関心を持っていただけるようにする。		武石地域教育事務所

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち														
環 境 保 全 項 目			環境活動を発信する														
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
5-3	1	丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載(計6回)	◎	・第20号～第22号まで発行済み。 ・環境情報、環境活動状況を掲載済み。	7回発行掲載	6回発行掲載	7回発行掲載	計6回	◎	・第20号～第26号まで予定どおり発行し、啓発を実施	特になし 継続して啓発活動を実施する。		丸子地域振興課

環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の 状況	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき 課題	市民等からの 意見	担当課
									H21	H22	H23						
独	35	特定健診・特定保健指導受診率の向上	安全で健康に暮らせるまちづくり	特定健診・特定保健指導の受診率を増加させ、住民の健康維持を図ることで、産業廃棄物等(医療廃棄物)の削減につなげる。	1 特定健診受診率と保健指導実施率の向上	1 特定健診受診率 57% 2 特定保健指導実施率 46%	○	事業は計画通り実行されている。 (現状) 真田地域特定健診対象者 2,231人 集団健診受診者 225人(10.1%) ・真田地域は集団健診が終了したので、今後は個別健診者の受診率や保健指導実施率のアップを図る。	1 特定健診受診率 31% 2 特定保健指導実施率 35.9%	1 特定健診受診率 24.2% 2 特定保健指導実施率 20.2%	1 特定健診受診率 31.6% 2 特定保健指導実施率 13.8% ※H23年度分は、12月末現在数値	1 特定健診受診率 57% 2 特定保健指導実施率 46%	△	12月末現在の結果 特定健診受診者 676人 31.6% 特定保健指導実施者 93人 13.8% 最終的な結果はH24年11月にならないと決定できないが、今年度の目標を達成するのは困難と思われる。	対象範囲を絞り、達成可能な目標設定にする。		真田健康福祉課
独	45	道路整備事業	観光アクセス道路の環境改善	市道小沢根線の整備促進	・合併特例債事業 舗装改良 L=400mの早期発注 ・落石箇所 の災害防除計画の策定	・施工実績による	○	H23.8.30一般競争入札指名委員会決議 H23.10.7開札予定 H23.11中旬の完成を目指す		H22年度以前 3165m	舗装改良 400m 累計 3565m	・合併特例債事業 舗装改良 L=400mの早期発注 ・落石箇所 の災害防除計画の策定	◎	当初計画どおり完了			武石建設課